

4. 中期計画の事業量

3. で示した各政策課題の重点方針に基づき、目標を達成するために必要な事業量として、65兆円を計上する。

このほか、既存高速ネットワークの効率的な活用・機能強化を含め、道路関連施策として3兆円以上を想定。

(内訳)

(1) 国際競争力の確保

- ・基幹ネットワークの整備

13.7兆円

24兆円
(23.8兆円)

24兆円

0.2兆円

(2) 地域の自立と活力の強化

- ・生活幹線道路ネットワークの形成
- ・慢性的な渋滞への対策

1.1兆円

33兆円
(32.6兆円)

7兆円

26兆円

(3) 安全・安心の確保

- ・防災・減災対策
- ・交通安全の向上
- ・安全・安心で計画的な道路管理

19兆円
(19.0兆円)

5兆円

7兆円

7兆円

(4) 環境の保全と豊かな生活環境の創造

- ・地球温暖化対策
- ・道路環境対策
- ・生活環境の向上

31兆円
(30.6兆円)

26兆円

2兆円

3兆円

25.7兆円

注) 重複を含む

中期計画（素案） 単価、事業量等一覧（精査中）

政策課題の小項目		箇所数・延長等	単価	事業量	事業量 (10年分に整理)	事業量 (施策内重複整理)
1・国際競争力の確保	基幹ネット		(H19年度) 2.33兆円/年	23.3兆円	23.3兆円	22.7兆円
	①基幹ネットワークの整備	・拠点的な空港・港湾からICへのアクセス改善 ・国際標準コンテナ車の通行支障区間の解消	—	1.3兆円	1.3兆円	1.1兆円
2・地域の自立と活力の強化	②生活幹線道路ネットワークの形成	約2,300区間 ※	33億円/区間	7.6兆円	7.0兆円	7.0兆円
	③渋滞対策	約3,000箇所	72億円/箇所	21.6兆円	21.6兆円	21.6兆円
	④開かずの踏切等を除却する対策	約1,400箇所	29億円/箇所	4.1兆円	4.1兆円	4.1兆円
3・安全・安心の確保	⑤耐震対策	約10,000橋	1.5億円/橋	1.5兆円	1.5兆円	1.5兆円
	⑥防災・防雪対策	約6,000区間	2.7億円/区間	1.6兆円	1.6兆円	1.6兆円
	⑦安心な市街地形成	約150km ²	150億円/km ²	2.3兆円	1.9兆円	1.9兆円
	⑧交通事故対策	約40,000区間	1.4億円/区間	5.6兆円	5.6兆円	3.4兆円
	⑨通学路の歩道整備	約25,000km ※	1.3億円/km	3.3兆円	2.8兆円	2.8兆円
	⑩踏切の安全対策	約1,900箇所	2.8億円/箇所	0.5兆円	0.5兆円	0.5兆円
	⑪橋梁等の修繕・更新、維持管理	約10万橋 ※	(橋梁補修・更新) 0.30億円/橋 (維持管理) 4200億円/年	7.2兆円	7.2兆円	7.2兆円
4・生活環境の保全と豊かな創造	⑫地球温暖化対策	③、④	—	(再掲) 25.7兆円	(再掲) 25.7兆円	(再掲) 25.7兆円
	⑬大気質対策	約30箇所	89億円/箇所	0.3兆円	0.2兆円	0.2兆円
	⑭騒音対策	約2,700km	6.9億円/km	1.9兆円	1.7兆円	1.7兆円
	⑮バリアフリー化	(バリアフリー) 約6,400km (駅前広場) 約900箇所	(バリアフリー) 1.2億円/km (駅前広場) 10億円/箇所	1.7兆円	1.5兆円	1.5兆円
	⑯無電柱化	約3,700km	4.4億円/km	1.6兆円	1.5兆円	1.5兆円

※ 地方単独事業分を除いている。